

プランクトン調査結果のお知らせ

本日、野見湾奥海面に着色がみられたとの報告があり、海水の検鏡を行いましたので結果をお知らせします。

検鏡の結果、貝毒原因種のアレキサンドリウム属が(表 1)確認されました。

細胞の特徴からアレキサンドリウム属と判断しましたが、1細胞のものも多く、アレキサンドリウム カテナラ (警戒密度500cells/ml:大阪府)かアレキサンドリウム タマレンセ(警戒密度10cells/ml:大阪府)かは不明です。いずれの種であっても、警戒密度を超えており、貝毒が発生するおそれがあります。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

表 1 検鏡結果

	アレキサンドリウム属
野見漁協冷蔵庫前(2m)	650cells/ml
野見漁協冷蔵庫前(5m)	106cells/ml
馬の背(2m)	16cells/ml
馬の背(5m)	4cells/ml
ガラク(2m)	2cells/ml
ガラク(5m)	2cells/ml
大室戸(2m)	45cells/ml
大室戸(5m)	23cells/ml
野見タンポ(0m)	7,800cells/ml
野見タンポ(2m)	188cells/ml
野見タンポ(5m)	117cells/ml
須崎魚市場前(2m)	13cells/ml
須崎魚市場前(5m)	1cells/ml

